日本大学 農獣醫學部 校友會報

発行所
日本大学農獣医学部
校友会
編集発行者
会報発行委員会
印刷所
東京商工KK

新執行部を選出

―四十七年度総会開催―

大学騒動などのため、延期になっていた農獣医学部校友会の総会が、五年ぶりで、本年六月一日に、東京渋谷の東急会館で、六十余人の各分会代表が参集して開催された。この総会は、久しぶりで開かれたせいか、校友会のあり方などに、熱気あふれる各代表の討論が行われ、新しい会長・副会長・理事・監事を選出し、工藤正義前会長の辞任以来、約一年ぶりで新しい執行部が発足した。

佐藤弘一氏(食経)を会長に選出

午後五時すぎ、佐々木実事務局長の司会、佐藤弘一会長代行が議長となり昭和四十七年度の総会が開かれた。

大学騒動のあおりで、理事会の会合のみで、昭和四十三年度から総会が開催できなかった関係上、四十三年から四十六年までの予算決算を審議したがこの間出費は殆ど無かったので原案通り可決した。

昭和四十七年度の予算案については、原案が、校友の親睦を主にして、毎年会報発行(本年度は特別四頁建)・四〜五年ごとに会員名簿を作成するという点に主眼をおいた趣旨に賛成し、名簿作成委員会を作るなど一部修正のうえ、可決された。

さらに役員選挙に移り、各派から三名ずつ推薦の理事を承認し、一たん休けい。この間理事会では会長・副会長の選任を行い、会長に佐藤弘一(食経)・副会長に嶋田幸治(獣医)・鹿野忠(林学)・西鳥羽曙(農学)の諸氏を選出また監事に山根勝治(食経)・世良田寛(農工)・坂野忍(食工)を選んで、ただち総会の承認を得た。

つづいて会長指名による事務局長に水産の出口吉昭、事務局会計に石井賢治、同庶務に月瀬東(獣医)の諸氏を承認して、ここに新しい執行部の誕生をみたのである。

総会終了後、六時から同館ゴールデンホールにおいて、懇親会を開き、学部から小堀学部長、伊藤事務局長をはじめ、学部教職員、本部校友会から億田事務局長、ならびに校友諸氏約一〇〇名参集して、和気あいあい、久しぶりの懇親会なので、にぎやかな談笑のうちに、同八時すぎ散会した。

懇親の実をあげるための努力を

会長 佐藤弘一

今回、はからずも校友会の会長に選挙されました。工藤正義前会長の活躍が大変立派だっただけに非力の私がなにも出来ないのにと思ったが、順番ですので、引き受けました。学部長先生の御挨拶にもありますように、農獣医学部は、十の学部と八千の学生を擁し、量的な発展段階を終り、質的な向上の段階へと入っているわけですが、量的な発展段階における工藤前会長の活躍は、農芸化学科の設立、水産学科の増設の問題、拓殖学科の設立など、校友諸氏も御存知のように、学部の発展にとって多大なものがありました。今回一身上の都合で、会長を辞任されましたが、これらの貢献は、校友にとっては永久に感謝されるべきものです。

この大なる貢献のあった前会長の後を受けて今後の校友会の行き方はどうあるべきなのだろうか。

私は、校友会の目的は校友相互の懇親にあると思います。校友会の執行部の仕事は、懇親の実をどう具体的にあげるかということにつきると思います。

そのために、第一に定期的な会報の発行、第二に会員名簿の整備、発行(四〜五年ごとに定期的に発行する)、第三に総会、懇親会の充実を考えることだと思います。これ以外にも、やらなければならないことがあるような気がしますが、それは、ゆっくり考えることにして、当分は、以上三点を忠実に行っていくつもりですので、よろしくお願い致します。

一〇学科・八、〇〇〇人の学生

―学園の現況―

学部長 小堀進

農獣医学部校友会報が、久しぶりで発刊されることになりましたことを、心からお喜び申しあげます。

農獣医学部と改称されましてから、本年三月、二十回目の卒業生を送り出し、昭和十二年設置されました専門部拓殖科、および明治四十三年設立の東京獣医学校以来の校友に、新会員を迎え、日本大学の校友三十万余のうち十七分の一、一万八千を数えるにいたりますます発展のこと、まことに慶賀に堪えません。

この機会に、農獣医学部の近況をお伝えいたしたいと思いますがまず初めに日本大学の概況に少し触れておきましょう。

ご承知のように、日本大学は大きな学園紛争を経験いたしましたが、昭和四十三年十二月二十八日大学の憲法といわれます寄付行為の改正が、文部大臣から認可されまた昭和四十四年八月には総長選挙規則が制定されまして、公選第一回の総長に、当時の歯学部長鈴木勝先生が就任、本年九月一日、第二代総長に引続いて就任されました。寄付行為改正後の第二代理事長には、永沢医学部長が、高梨公之通信教育部長に代って、九月十二日就任されました。また副総長三名(小田切松吉農学部長・木村秀政理工学部長・高梨公之通信教育部長)、常任理事四名(沼里連吉、柴田勝治・川内録=法学部長・内藤賢光の各氏)も決まり、研究教育の府としてさらに充実・発展に努力することになりました。

学部数は、昨年できました日本大学松戸歯科大学を加えまして十二となり、付属高等学校も十二であります。全学部の学生数は短期大学の十科を含め、八万七千余の多きに達しております。また専任教職員は六千を越えるとのことであります。しかし数の多いのを誇りにするわけではありません。

資産は、日本大学八十余年の歴史の中で、初めて行われました大学財産すべての棚下しが、昨年七月三十一日を基準日として、一千億を越えるというような状態であります。

しかも学校法人会計基準によって、土地などは、取得価格をもって計上されているとのことであります。さらに年内予算は、五六四億円という大きな学園となりました。

なお、この間、古田重二良会頭(昭和四十五年十月二十六日)、永田菊四郎総長(昭和四十四年九月十八日)ほか、当時日本大学運営に従っておられました方々の中で、ご逝去されました方も多く謹んでご冥福をお祈り申しあげます。

さて農獣医学部でありますが、ご承知のように、私どもも大きな学園紛争を経験いたしました。一時は学園の将来はどうなるかと思いましたし、日々の新聞記事などを見ますと、ほとんど大学に関する記事であるということもありました。これも教職員を初め多くの方々によって乗り越えてまいりまして、現在の状況に至っております。

農獣医学部は発足当時は大学科でありましたが、現在は二つの大学院研究所に五専攻(農学、農芸化学、畜産学、農業経済学、獣医学)、専攻科に二専攻(海洋漁業、漁船機関)、十学科(農学、農芸化学、獣医学、畜産学、食品経済学、林学、水産学、農業工学、食品工学、拓殖学)、二つの短期大学(農業科)、二つの付属高等学校(鶴ケ丘、藤沢)を擁するに至っております。学生数は大学院において七十二、学部において八千(全学科一年次と拓殖学科は二年次も藤沢校舎で教育)を数え、専任教職員は三百八十余名であります。

施設として、このところ完成いたしましたものは、すべて鉄筋コンクリート造りでありますが、六号館(大学院と図書館で地下一階地上六階、五、一七四余平方米)、七号館(実験室、地下一階、地上三階、二、七六八余平方米)、藤沢校舎本館(三階建、六、九三八余平方米)、水上演習林実習所(三階建、一、三四四余平方米)および下田臨海実験所(二棟で、一棟は地下一階、地上二階、一棟は二階建、あわせて一、七八二余平方米)などがあり、水上と下田には宿舎もあって、厚生施設としても活用しつつあります。

農獣医学部の四十七年度における年内予算は、学校法人会計法に則りまして、四十二億円となっております。

これも、初代の農獣医学部長は、事務総長として呉文炳総長が兼任され、昭和二十九年六月より岩田耕作先生が、同三十八年九月より大森智堪先生が、同四十四年四月より前川秀俊先生が、それぞれ学部長にご就任され、教職員一体となって学部の発展に尽粋されました賜と、心からの敬意と感謝の意を禁じえません。私は昨年十月二十日より学部長の職をお預りして現在に至っております。

「山高きが故に貴(とうと)からず」という諺があります。大学は規模が大きいだけが誇りではありません。そこに学ぶ学生が優秀であり、そこを卒業された方が立派な業績を挙げ、また教職員が教育・研究に心を一つにして努力している姿こそが、大学として評価されるものであり、大学の発展と思います。教育・研究の場におきましてはスポーツの世界などに見られますような派手ではありませんが、私どもは先輩諸先生の心を体し、その方向に向って順次、地味ではありますが、着実に進みつつあります。

学部長就任に当り、私は教育、研究、学生指導、管理・運営、大学の社会への貢献という農獣医学部としての基本的な五つの柱につきましてお話をし、さらに本年四月、昭和四十七年度の新学期を迎えました時、教職員の方々へ、この五つの柱につきまして敷延して申しあげましたが、ここでは紙数の関係もありますので、項目だけにとどめさせていただきます。

以上、農獣医学部の概況について申しあげましたが、校友の諸兄姉へとくに申しあげたいことの一つは、学園紛争の折には、多大のご心配やらご迷惑をおかけいたしましたことを、心からお詫び申しあげますとともに、ご激励やらお力添えを賜りましたことにたいし、厚くお礼申しあげたいのであります。

もう一つは私立大学の運命は国公立と違いまして、校友諸兄姉と表裏一体の関係にあるということであります。それは、大学の評価は前記いたしましたように、卒業された方の栄誉は即母校の栄誉であり、母校の発展は校友諸兄姉の誇りであり、栄誉につながるという関係にあります。これが私立大学の良さの一つでもあろうかと考えます。

浅学非才、まことに微力ではありますが、私は、教職員とともに一体となって、農獣医学部発展のため精根を尽くす所存でございます。校友諸兄姉におかれましても、母校のため一層のご高配を賜りますようお願い申しあげまして、ごあいさつといたします。

(昭・四七・一〇・二〇)

大学評議員に 北川休氏

今年一月に下馬の農獣医学部校舎で開かれた校友会理事会において、大学本部の評議員に拓殖の北川休氏を校友評議員の候補に推薦したが、九月十五日付で、同氏は評議員と委嘱された。評議員の任期は三年。

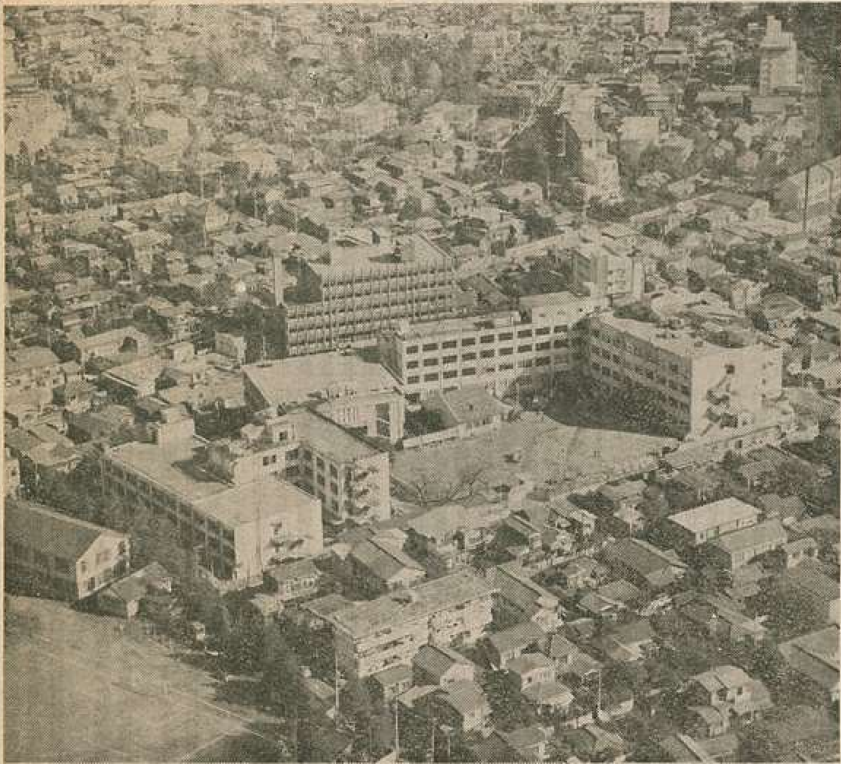
農獣医学部校友会役員

会長 佐藤弘一(食経)
副会長 嶋田幸治(獣医)
〃 鹿野忠(林学)
〃 西鳥羽曙(農学)

理事
西鳥羽曙(農学)
高橋文治郎(農学)
宮浦敏麿(農学)
設楽茂雄(農化)
藤本和基(農化)
浅野浩司(農化)
嶋田幸治 前掲
加地正光(獣医)
大熊俊一(獣医)
白山巌(畜産)
野崎邦興(畜産)
田島貞次郎(畜産)
佐藤弘一 前掲
来米速水(食経)
三木敏夫(食経)
鹿野忠(林学)
片岡寛純(林学)
上野喜昭(林学)
大石寿夫(水産)
橋本市治(水産)
望月篤(水産)
八木茂(農工)
辻厚志(農工)
戸崎紘一(農工)
中村清一(食工)
岡村衛(食工)
鈴木裕治(農工)
庄川洋一(拓植)
北川休(拓植)
岡田正男(拓植)

監事 山根勝治(食経)、世良田寛(農工)、坂野忍(食工)
事務局
局長 出口吉昭(水産)、会計 石井賢治(農学)、月瀬東(獣医)

各科校友会の動き



大森智堪先生と健康祝して懇談

11月23日当学部で

昭和四十四年三月日本大学定年規定により退職されるまでの五十年間日本大学に勤務し、公的には産業教育功労者として藍綬褒章を、また勲三等瑞宝章を授与され、さらに韓国建国大学校よりは名誉経済学博士の称号を授与されるなど私学教育に尽された功績は大きい。こんな大森智堪先生に感謝し、古稀の祝や叙勲再叙の祝意を含めて記念しようと、友人・知人・卒業生・教職員が募金運動を始め、昭和四十七年三月まで千余名の方々から四百余万円の賛助を得た。そして大森先生へ「[illegible]」の二字を刻んだ額と共に賛助金を贈呈したところ、大森先生はそれを受取られた。しかし額は受取られたが、賛助金は学院の奨学金にでもとのことである。

また、大森先生が退職されてから、私共校友も教職員も久しく御会いしていないのが現状なので、御健康を祝うと共に懇親する機会を作ろうと相談がまとまり十一月二十三日（祝）当学部にて十二時半より催すこととなった。親しく接した大森先生の姿をみて、あまりの若々しさに驚くひともあるかと思い予め御知らせしておこう。（佐藤敬）

学部の現況

(1)農獣医学部

学部長＝小畑　進
事務局長＝伊東八郎
学監＝小山　進
学生生活委員長＝久米田賢志
経理長＝橋本　守

(2)学科主任教授

農学科　蒲原　務
農芸化学科　大村　収
獣医学科　大前俊一
畜産学科　福島正次
食品経済学科　[illegible]
林学科　萩原貞夫
水産学科　稲葉伝三郎
農業工学科　鶴谷卓三
食品工学科　斎藤嗣蔵
拓植学科　錦織英夫
教養課程　川島一三

(3)研究所・実験所等

獣医学研究所長　小畑　進
横須賀臨海実験所長　稲葉伝三郎
演習林長　箸田　茂
家畜病院長　桑原彦夫
農獣医学部図書館長　大前俊一

(4)事務局

庶務課長（心得）羽山正一
教務課長　吉川幸四郎
学生課長　伊藤　進
管財課長　熊谷嗣蔵
経理課長　森　保
図書館事務課長（心得）松浦長芳
藤沢校舎事務課長　小関　仁

学術会議会員に当選　桑原教授

第九期日本学術会議会員選挙は昭和四六年一一月に実施されたが本学部獣医学科教授桑原彦夫氏は第六部（農学）で立候補され、見事当選された。本学部校友で、日本学術会議会員に選出されたのは、同氏が最初であり、心よりお喜び申し上げる。

わが国の学問の最高殿堂である同会議において、桑原教授が活躍されることを期待し、さらに第一〇期選挙においても、校友有権者各位が一致して、同氏を推挙されんことをお願いしたい。（出口）

(5)大学院の現況

大学院は現在、農学研究科および獣医学研究科の二研究科を有し、各専攻および課程は次のようである。

農学研究科　農学専攻　修士課程
〃　農芸化学専攻　修士・博士課程
〃　畜産学専攻　修士・博士課程
〃　農業経済学専攻　修士・博士課程
獣医学研究科　獣医学専攻　修士・博士課程

なお昭和四八年四月より次の二課程が開設される見込みである。

農学研究科　農学専攻　博士課程
〃　水産学専攻　修士課程

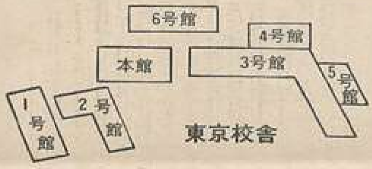
(6)農獣医学部の主な施設

現在、次のような施設があり、教育、研究環境ともに充実して来ました。

東京校舎

本館＝学部長室・事務室・大講堂・会議室
一号館＝講義室・食堂・学生ホール・売店
二号館＝研究室
三号館＝総合研究所・研究室・講義室・実験室
四号館＝家畜病院・研究室
五号館＝講義室
六号館＝大学院・図書館・研究室
七号館＝実験室

【写真は第7号館】



藤沢校舎

一号館＝学部長室・事務室・会議室・研究室
二号館＝講義室
三号館＝講義室
四号館＝図書室
五号館＝講義室・実験室・研究室・LL教室
六号館＝ミルクプラント
七号館＝講義室
実習農場・演習林

水上校舎

水上セミナーハウス（宿舎・食堂・浴室）
演習林実習所

下田校舎

下田セミナーハウス（宿舎・食堂・浴室）
臨海実験所（研究室・実験室・水槽室）

横須賀校舎

臨海実験所（実験室）

学部祭（三茶祭）日程

紛争終了後、二回目の学部祭が左記の日程で開かれます。校友各位のために休憩室も用意されておりますので、おさそい合せの上、ご来学下さい。

十一月十六日（木）前夜祭
十七日（金）展示
十八日（土）展示
十九日（日）展示・後夜祭

学部校友会名簿作成委員

会長　佐藤弘一
事務局長　出口吉昭
〃　会計　石井賢二
〃　庶務　月瀬　東
農学科校友会　藤原正行
農芸化学科校友会　名取正彦
獣医学科校友会　久瀬　厚
畜産学科校友会　佐々木実
食品経済学科校友会　高坂鉄雄
林学科校友会　石垣通朗
水産学科校友会　金原和征
農業工学科校友会　辻　厚志
食品工学科校友会　熊谷恵子
拓植学科校友会　樫木敏次

学部校友会会報編集委員

会長　佐藤弘一
事務局長　出口吉昭
〃　会計　石井賢治
〃　庶務　月瀬　東
農学科校友会　石井賢治
農芸化学科校友会　山本一彦
獣医学科校友会　佐藤　敬
畜産学科校友会　佐々木　実
食品経済学科校友会　高坂鉄雄
林学科校友会　片岡實純
水産学科校友会　留月　篤
農業工学科校友会　白岩隆己
食品工学科校友会　佐藤清冶子
拓植学科校友会　長川勝男

昭和48年度　日本大学　入試科目

学部	科目
農獣医学部（農学・農芸化学・獣医・畜産・林学・水産・農業工学各学科） 短大農業科	国語・数学　国語（現代国語・古典乙Ｉ）または数学Ｉ・数学ⅡＢのうち１科目選択 理科―物理Ｂ・化学Ｂ・生物・地学のうち１科目選択 外国語―英語Ｂ
農獣医学部（食品工学科）	数学―数学Ｉ・数学ⅡＢのうち１科目選択 理科―物理Ｂ・化学Ｂ・生物・地学のうち１科目選択 外国語―英語Ｂ
農獣医学部（食品経済・拓植各学科）	国語―現代国語・古典乙Ｉ 社会・理科　政治経済・地理Ｂ・物理Ｂ・化学Ｂ・生物・地学のうち１科目選択 外国語―英語Ｂ

入試期日

農獣医学部（昼）	獣医	２月20・21日（火・水）
	農学・農芸化学・畜産・食品経済・林学・水産・農業工学・食品工学・拓植	２月22日（木）
短大農業科（昼）		２月22日（木）

★ 入試関係についての照会は　東京都世田谷区下馬３－34－１（〒154）日本大学農獣医学部入試係
　なお　入学案内は11月にできる予定です（送料とも350円 志望学部を明記のこと）

★ なお大学院と専攻科は３月に入試が行われる予定です。